

国立子ども青少年図書館における展示について

国立子ども青少年図書館 企画協力課
(チェ・ソンア)

1. はじめに

人々の暮らしが豊かになるにつれ、今日の文化と芸術への関心と新たな試みは図書館にも広がり、図書館もまた、これまでの知識と情報の伝達という役割を越えて、多様な読書文化活動を提供する複合文化空間として存在するようになりました。展示とは、“広げて見せる”“説明する”などの辞書的な意味からもわかるように、文化的、芸術的価値を持つものを観客に伝えるためのものであり、知識の伝達を越えて人間の感性を目覚めさせ、作品との意思疎通によってより幅広い思考を可能にさせる活動です。従って、子どもと青少年を対象とする図書館における展示とは、子どもたちの想像力と創造力を育み、教育的な目標と娯楽的な目的を同時に満たせる重要な文化活動といえるでしょう。

このような時代の変化に合わせ、国立子ども青少年図書館は 2006 年の開館と同時に展示室を設け、これまで様々な展示会を開催してきました。今回の発表では、国立子ども青少年図書館における展示の役割と意義について述べ、今までに開催した展示の特徴と今後の進むべき方向について考えてみようと思います。

2. 展示の役割及び意義

1) 図書館利用の活性化

図書館で展示を開催する最も直接的な目的は、まさに利用の活性化であるといえます。この利用の活性化は、二つの側面から考えることができます。

一つ目は、展示は図書館を広報する一つの方法であることから、展示を通じて利用者の足を図書館に向けさせる「図書館の利用活性化」です。二つ目は図書館の所蔵資料を活用した展示によって、利用者が普段書架から取り出して見ることのない様々なテーマの多様な本に触れられるようにする「資料の利用活性化」です。特に、若い利用者が本に対して自然と

関心を持つようにできるという点で、展示は効果的です。展示は図書館を広報する一つの方法であり、また、より多くの資料を利用できるように紹介する窓口なのです。

2) 読書と児童文学に対する関心を高めること

図書館と本が不可分の関係であるように、図書館の展示で児童文学を取り上げ、関連情報を提供することもまた、見落としとしてはならない部分です。国内外の優れた児童文学の紹介や、韓国児童文学の歴史を顧みる企画展示を通して、児童文学に関心を持つ研究者に有用な情報を提供します。それだけではなく、一般の利用者にとっては、それまで知らなかった我が国の児童文学の歩みや海外児童文学の動向に関心を向けるきっかけになります。また、展示を通して、本と読書に対する関心も自然と高まることでしょう。

3) 子ども青少年図書館のモデル図書館としての役割遂行

国立子ども青少年図書館は、国の子ども・青少年図書館を代表する機関として、すでに様々な読書振興事業及び支援、読書文化のプログラム開発などに取り組んでいます。展示開催においても、いろいろな国や関係機関との協力を通じて多様な展示を企画、もしくは企画を試みることで、子どもと青少年を対象とする図書館のモデル図書館としての役割を遂行するよう努めてきました。このことは数回の地域巡回展示を通して実践しており、今後も着実に続けていく予定です。

3. これまでの展示

2006年6月の開館以降、国立子ども青少年図書館は計44回の展示を開催しました。年度別の開催状況は、末尾の〈年度別展示状況〉をご参照ください。

以下、これまでに開催した展示をテーマ別に分け、その中から特徴的なものを一部ご紹介いたします。

1) 年度別

〈年度別展示状況〉を参照

2) テーマ別

2-1) 韓国の児童文学

これまでに、韓国の児童文学の流れをテーマにした企画展示を7回開催しました。

2006年の開館後、初めての展示だった〈童心の世界を描く—韓国児童文学物語展〉は、韓国の代表的な児童文学作家11人の作品を童話／童謡（童詩）／雑誌の三つのジャンルに分けて年代順に展示することで、1980年代までの韓国の児童文学の歩みを見ることができま

した。

2013年に開催した〈本で伝わる児童文学作家五人五色展〉は、国立子ども青少年図書館に設置されている個人文庫作家五人の作品と遺品などを展示し、彼らの生前の人生を顧みながら作品に再び光をあてる展示となりました。

そして、我が国の昔話を扱った〈昔話、出てこい、出てこい！展〉は、先祖たちの生き方と情緒をそのまま映し出す昔話について、作品を展示し、昔話の専門作家をお招きして講義をして頂きました。

他には、1990年代からの我が国の現代児童文学を扱った〈韓国現代児童文学物語〉、1950～60年代の児童書の挿絵について調べた〈我が国の児童書の挿絵の世界〉などの展示も開催しました。

2-2) 海外児童文学及び文化体験

海外の児童文学と文化の多様性を理解し間接的に体験してみる展示は、主に外国大使館及び文化院と協力して開催しました。

2008年の〈赤毛のアン展〉は、「赤毛のアン」の出版100周年を記念して駐韓カナダ大使館と共同主催しました。全世界で愛されている「赤毛のアン」に関連した様々な小道具とカナダの児童図書を紹介し、児童英語ドラマ研究会の後援で童話の口演・アートブックワークショップなどを付随行事として行いました。

2012年に開催した〈オーストラリア児童書イラスト展〉は、駐韓オーストラリア大使館と一緒に、ボローニャ国際図書展に出品されたオーストラリアを代表する現代児童イラスト作家たちの代表作品46点と関連図書を展示しました。展示終了後は、全国12ヶ所の図書館で巡回展示を実施しました。

駐韓デンマーク大使館と共同開催した〈デンマーク イラスト童話展〉はデンマーク文化芸術委員会が企画した国際巡回展示で、作家のイラストと関連図書の展示を通してデンマークの現代児童文学の最新動向を知ることができました。

また、昨年開催した〈絵本で見る遠い国・近い国展〉はIFLA子ども青少年文化のプロジェクトを通じて企画された国際巡回展示で、世界33ヶ国の司書が推薦する絵本により、世界の様々な国の伝統と文化を理解する機会を提供しました。

2-3) その他

その他に、自然・歴史・読後活動などをテーマにした様々な展示を開催しました。

関連機関の協力を得て開催した〈生命の始まり 卵と種展〉は、普段の図書館では見られない動物・卵・種の剥製や標本を通して周辺の自然を知ることができるという、特色ある展示でした。

そして、最近開催した〈国際子どもの本の日 ポスター展〉は、南怡島（ナミソム）と共同主催しました。国際子どもの本の日（4月2日）を記念し発行された過去のポスターと

作家のメッセージを紹介する展示により、我が国ではあまり知られていない国際子どもの本の日を広く知らせ、子どもの本に対する関心を高める契機となりました。

様々な読後活動の成果物を展示した〈教室での本作り〉や〈ブックアート 夢の発見〉のように、本と関連した芸術の一分野であるブックアートに接することができる展示も開催しましたし、我が国のテコンドローの現代史と関連資料を展示した〈テコンドー現代史、その希望と挑戦の歩み〉、グリーン成長¹について調べてみる〈グリーン成長 正しく知ろう〉など様々な分野の展示が開催されました。

3) 特徴及び改善点

これまでの展示開催の状況を調べた結果、展示のテーマは大きく韓国の児童文学／海外の児童文学及び文化体験／その他、の三つに分類できました。展示形態もまた、企画展示／共同展示／貸館²展示の三つに分類でき、韓国の児童文学と関連した展示以外は主に共同展示の形式を帯びています。

展示開催の序盤は主に企画展示が大きな比重を占めていたのに対し、共同展示の頻度が高まるにつれ、最近は特に外国公館との展示に依存する傾向に変わってきています。これは文化多様性に対する理解を高める良い機会ではありますが、多少一方に偏った傾向が出ていることがわかります。そして、毎回似たような単純羅列と説明中心の展示構成で、幼い利用者の特性にあまり合わない展示の形態が見られました。

4. 展示の進むべき方向

今後の国立子ども青少年図書館における展示の進むべき方向は、前述した展示の役割と意義、これまでの開催状況を通じて、その答えを見出すことが出来るでしょう。

1) 基本に忠実な展示

図書館の展示は、本、中でも図書館所蔵資料を基本にすることが正しいと考えます。その意味から、今後は児童書を所蔵する国内最大かつ国を代表する子ども青少年図書館としての役割をしっかりと努めていく所存です。これまでの展示は、外国公館との協力を通じて、その国の紹介をはじめとする図書や文化、歴史などを包括的に伝える展示がほとんどでした。今後はこれに留まらずに、より基本に忠実な展示とともに、多様な展示の試みが必要です。

¹ 訳注：「低炭素グリーン成長」は、李明博大統領（当時）による 2008 年 8 月 15 日の建国 60 周年演説において、新たな国家ビジョンとして示されたもの。「グリーン成長」は、「温室効果ガスと環境汚染を減らす持続可能な成長」であり、新たな成長力と雇用を創出する新しい国家発展のパラダイムである、と位置付けられた。（参考：諸橋邦彦、遠藤真弘「韓国「低炭素グリーン成長基本法」― 経済と環境が調和した発展に向けて」外国の立法 243（2010.3）

² 訳注：展示を希望する団体等に自館の展示施設を貸出すこと。

ここでいう“多様な”とは、多様なテーマ、多様な機関との協力を意味しますが、展示構成において新たな形態の展示を試みることも意味します。

2) 意思疎通を重視する展示

前述したように、説明中心の単純な羅列、展開式のこれまでの展示形態は、最近のような双方向のコミュニケーションを重視する展示の流れには合いません。観客の特性と視点を考慮した展示形態への転換が必要です。そのためには、観客が展示空間の中で作品と円滑にコミュニケーションできるいろいろなストーリーテリング的要素が必要です。特に、子どもたちの感性を刺激する体験空間を拡大し、展示物に直接触って感じることで得られる相互作用を通して、自然に学習にも好影響を与えられるようにしなければなりません。

そして、開館から現在までの展示が、国立子ども青少年図書館を対外的に知らせることに重点を置いたものだったとしたら、現在残されている今後の課題は、国内の児童文学についての企画展示を拡大し、優れた児童文学を発掘・紹介することです。

5. おわりに

本発表では、国立子ども青少年図書館における展示の意義と必要性、これまでの展示を通して、今までの特徴と進むべき方向について考えてみました。展示によって、子どもたちの内面の成長が促され、これからの人生で子どもたちが“本”と“図書館”をより身近に感じられるようになります。従って、今後は質の良い展示をより一層拡大させなければなりません。

今後、国際子ども図書館とも相互に発展していけるよう、すぐれたテーマの展示を通じて両館の交流が活性化する機会をもてることを期待したいと思います。

以上で発表を終わります。

<年度別展示状況>

年度	展示名	期間	内容
2006	童心の世界を描く－韓国児童文学物語	6月28日～ 8月27日	韓国児童文学の主要作家 及び作品紹介
	昔話、出てこい、出てこい！	9月14日～ 10月31日	・昔話の絵本、童話 ・昔話のイラスト展示
	教室での本づくり	12月18日～ ‘07年1月17日	多様な形態の読後成果物を 展示
2007	英国 児童書イラストレーション展 ‘マジックペンシル’	2月5日～ 5月18日	英国イラストレーター13人 の作品及び図書の紹介
	我が国の児童書の挿絵の世界	6月1日～ 8月19日	1950～60年代の児童書の 挿絵紹介
	アンゴラ、未来の国	8月27日～ 10月31日	アンゴラの写真、伝統衣装、 各種工芸品の展示
	我が国の民族文化の象徴100選	11月14日～ ‘08年2月29日	我が国の民族文化を象徴す る物及び関連図書の紹介
	絨毯に乗ってトルコへ行こう	11月16日～ 12月9日	トルコの写真、美術作品、 工芸品及び図書の展示
2008	私たちの手作り読書新聞	1月29日～ 3月16日	子ども読書新聞、感想文受 賞作の展示
	ユング・デ (Jung ; De) - ドイツ青少年 たちの日常生活はどんなものかな？	5月2日～ 6月19日	ドイツの青少年図書及び音 楽、写真の展示
	韓国現代児童文学物語	6月25日～ 8月31日	1990年代以降の韓国児童 文学資料の展示
	私をたずねて来た我が国の童詩100編	9月5日～ 10月26日	1900年代以降に発表され た童謡、童詩及び主要作家 の紹介
	赤毛のアン (Anne of Green Gables)	11月27日～ ‘09年2月8日	「赤毛のアン」関連の各種 手工芸品と図書の展示
2009	本を読み終えて・・・	2月13日～ 4月19日	子ども読書新聞、感想文受 賞作の展示
	グリーン成長 正しく知ろう	6月5日～ 7月26日	グリーン成長の関連図書と 情報パネルの展示

年度	展示名	期間	内容
	アンクルサム夏の読書キャンプ展 (Uncle Sam's Summer Reading Camp)	8月1日～ 9月13日	米国の子どもの本と国内の 翻訳図書などの展示
	米国文学賞受賞図書及び優秀図書展	9月18日～ 11月15日	米国の権威ある文学賞受賞 作の展示
	セイシェル文化体験展：セイシェル？ どんな国なの？	12月11日～ ‘10年2月7日	セイシエルの歴史と文化の 紹介、及び教科書などの紹 介
2010	本とおしゃべり 展	2月19日～ 4月5日	子ども読書新聞、感想文受 賞作の展示
	ブックアート 夢の発見展	5月4日～ 6月5日	ブックアート関連受賞作品 の展示
	太極旗を翻して：1910～1953	6月23日～ 8月31日	韓国近現代史の関連図書及 び関連パネルの展示
	本、自分が感じたことを語る	9月16日～ 10月17日	子ども読書新聞、感想文受 賞作の展示
	ドイツ 現代絵本の挿絵	10月22日～ 11月21日	ドイツの現代絵本挿絵作家 13人の作品を紹介
	チェコの絵本 挿絵展：チェコから来た 赤ちゃんモグラ クルテック	12月1日～ ‘11年1月9日	クルテック関連の絵本、挿 絵、グッズなど展示
2011	創作絵本展示会‘本の遊び場でわいわい がやがや’	1月14日～ 2月15日	創作絵本の原画と作品の紹 介
	こんにちはみんな！：弟と行く地球村の 社会	3月18日～ 5月29日	世界各国の文化及び図書の 紹介
	司書が推薦する現代絵本の原画展	7月1日～ 7月28日	司書推薦の絵本原画及び関 連図書の展示
	イ・ウォンス、ユン・ソクジュン生誕100 周年記念文学絵画展	8月1日～ 9月25日	主要文学作品100余点と遺 品などの展示
	テコンドー現代史、その希望と挑戦の歩 み：テコンドー公園展示館の収集資料	9月30日～ 10月9日	テコンドー関連の主要資料 展示
	本の中から見つけた五つの物語	11月1日～ 11月30日	子ども読書新聞、感想文受 賞作の展示

年度	展示名	期間	内容
	こんにちは スウェーデン Hello? Sweden	12月15日～ ‘12年2月15日	スウェーデンを象徴する物 及び代表的な発明品、児童 図書の展示
2012	司書推薦 優秀絵本の原画展	4月6日～ 5月13日	司書推薦絵本の原画及び関 連図書の展示
	中国文化写真展及び中国語の児童書展	5月18日～ 6月17日	写真、映像、児童図書によ る中国文化の紹介
	世界遺産で出会う地球村	7月30日～ 9月16日	ユネスコ世界遺産の紹介及 び関連の図書を展示
	私のともだち ASEAN: ASEAN 探検展	9月24日～ 11月11日	ASEAN 各国の紹介及び関 連図書の展示
	オーストラリア児童書イラスト展	11月29日～ ‘13年1月29日	オーストラリアを代表する イラスト及び関連図書の展 示
2013	神秘と魅惑の島 インドネシア : Wonderful INDONESIA	2月20日～ 3月31日	伝統楽器、衣装、工芸品及 び図書の展示
	デンマーク イラスト童話展	4月2日～ 4月21日	デンマークのイラストと関 連図書の展示
	ポーランド 現代子どもの本 イラスト レーション展	4月30日～ 5月26日	現代のポーランドを代表す るイラスト及び関連図書の 展示
	本で伝わる児童文学五人五色展	6月4日～ 6月30日	児童文学五人の代表作品 及び遺品などを紹介
	生命の始まり 卵と種展	7月5日～ 8月4日	卵と種、動物に関するパネ ル及び標本、図書の展示
	絵本で見る遠い国・近い国展	8月13日～ 9月12日	世界 33ヶ国の優れた絵本 を展示
	太陽の国メキシコ展	12月17日～ ‘14年2月17日	メキシコの歴史、文化、各 種風習及び教科書などを紹 介
2014	国際子どもの本の日 ポスター展	3月7日～ 5月29日	国際子どもの本の日記念ポ スター及び関連図書の展示